

2019年 猪突猛進



状況を見て時にはサイドステップも…

上宮太子ニュース

~感謝と挑戦~

学校新聞
平成30年度
『上宮太子ニュース』
1月号
発行：上宮太子
中学高等学校

年男 新春インタビュー



寺澤 久弥 校長先生

【趣味】

- ・家でゆったりと、好きな本を読んだり、音楽や落語を聴いたりすること。
- ・喫茶店をめぐること。

【年末年始の出来事】

特に、元旦は上宮太子に来て、「修正会」で、理事長先生・教頭先生・事務長先生らと一緒に、校内の学校祖（像）と仏様（7か所）に、生徒の皆さん、教職員、其々のご家族の一年間の健康と安寧をお祈りしました。



右：写真）年末に家族で食事に行った帰り途で。娘さんと息子さんと一緒に。 <奥様の撮影>

【今年の抱負】

始業式で皆さんに話した様に、今年・2019年は「己亥（つちのとい）」の年。私は、60年に一度の己亥年である1959年生まれで、感慨深いです。イノシシ年で“猪突猛進”にならぬよう、常に周囲の状況を見渡し、また、バランスを大切にしていって進んで一年にしたいです。

【太子生へひとこと】

いつも、ありがとう。皆さんにとっての己亥の年である2019年は、「来るべき時に向けて、エネルギーを蓄え自分磨きをし、整然と準備を整える一年間」にしてほしいです。ご活躍を期待します！



3学期始業式

1月8日、平成30年度第3学期の始業式が行われた。1限目に各クラスでホームルームを行い、久しぶりに会ったクラスメイトと元気に顔を合わせ、積もる話に花を咲かせた。続く2限目より体育館へ移動し、全校生徒が集まり、厳粛な始業式となった。

底冷えする体育館に全校生徒が集まり、友達と笑顔で挨拶を交わす元気な姿が見られた。式が始まり校長先生からは「己亥」の年の話を交えながら3学期の重要性を説いていただき、皆一様に心を新たに3学期の頑張りを心に誓った。新しい年を迎えて気持ちを新たに自分の目標を立て、何事にも挑戦し、良い1年になることを祈るばかりである。

3学期	主な行事
1月26日	英語検定
2月2日	休業日
2月7日	中2スキー実習
2月8日	午前中授業
2月9日	高校入試
2月25日	御忌式（1限）
3月1日	高校卒業式
3月2日	中学学年末考査
3月6日	高校学年末考査
3月4日	高校学年末考査
3月8日	中3生を送る会
3月12日	中学卒業式
3月16日	終業式
3月23日	終業式

T-1 グランプリ



探究学習 ~深い学び・対症的な学び・主体的な学び~

ミッション『上宮太子の敷地を使って幸福度をアップせよ』

2021年1月から始まる「大学入学共通テスト」をにらんで、高校の授業にも探究学習の強化がいつそう求められ、本校においても自ら課題を発見することを重視した探究学習に力を入れている。そんな中、高校1年生が探究の授業の一環で『T-1グランプリ』を実施した。



12月3日、多目的教室にて高1生が集まり、探究の授業で班ごとにプレゼンを行い、一番優れた発表を競う『T-1グランプリ』が行われた。あらかじめクラスで予選を行い、勝ち抜いたクラス代表の6つの班がプロジェクターや書画カメラを駆使してプレゼンを行った。

与えられた共通のテーマは「上宮太子の敷地を使って幸福度をアップせよ」自然に恵まれた約2万坪の敷地を利用し、面白さや問題点、解決策を考えてユニークな発表が続き、会場は大いに盛り上がった。担任外の先生の審査により、1年3組の代表班が見事優勝。クラス全員分の食堂利用券を獲得した。

優勝した3組代表班はアトリウムを巨大水槽にしてジンベイザメを飼うというプレゼン。利点は「ジンベイザメを見てみんなが癒される。学校が有名になる」大胆な発想で審査員の心をつかんだ！

UT先生おススメの名店

社会科 前田 良仁 教諭

今回、中学3年担任の前田先生が紹介してくれるのは、奈良県葛城市にある中華料理屋さん『源隆（げんりゅう）』。口コミで「このボリュームは半端ない」と広がり、常に店はお客さんでいっぱい。さらに値段もリーズナブルで味も美味しい。前田先生も「お腹をすかせて行かないと残さず食べるのは苦しい」という100円のランチ（好きなラーメン、好きなメイン料理、コロッケ、サラダ、漬物、ライス、ソフトドリンク）はコスパ最高！ みんな中華は好きでちゅうか？

中華料理 源隆

奈良県葛城市兵家
11:00~14:30
17:00~23:00
年中無休

台湾ラーメン、油淋鶏
チャイニーズ700円

塩ラーメン、唐揚げの
チャイニーズ700円

Taishi Link

高2進路講演会

1月16日（水）7、8限目、昨年に続き、京都造形芸術大学の吉田大作先生を講師に迎え、高校2年生を対象に進路講演会が開催された。

たいへんお話しになるお話で大学進学に向けて大いにモチベーションアップになった。

日頃から29期生のために全力でサポートしてきた担任団からは「ここまで来た気持ちはだ！」という願いを込めてキットカットが配られた。

特別考査

センター試験

高1高2は1月11日（金）、中学は1月17日（木）に分けて特別考査が行われた。冬休みの宿題を中心とした考査に生徒たちは黙々と筆を走らせた。

1月19日、20日大学入試センター試験が実施された。本校の高3生 約120名も2会場に分かれて足を運び、これまでの勉強の成果を存分に発揮しようと最大5教科8科目の試験を受験した。会場には高3担任の先生方も駆けつけ、持っている力を十分に出し切るように声をかけた。

学年主任の福田和憲教諭は「みんないい緊張感の中でテストを迎えられたようです。落ち着いて日頃の成果を存分に押し出してほしいと思います。」とエールを送った。まだまだ受験はこれから。最後まで気を抜かず、自分の進路勝ち取ってほしい。

於 四天王寺大学、大阪大谷大学

約120名受験



海と山の世界遺産ケアンズ

第1隊 12月16日~21日
第2隊 12月17日~22日

高2 修学旅行 4泊6日



灼熱の太陽 最高の思い出

高校2年生が2隊に別れてオーストラリア・ケアンズへ修学旅行に出かけた。前半はファームステイで現地のファミリーと交流を図り、後半はアボリジニー文化の体験やグリーン島での遊泳など盛りだくさんの内容で思い出に残る最高の修学旅行になった。

12月16日に第1隊(1、2、6組)17日に第2隊(3、4、5組)が期待を胸に関西国際空港を後にした。第2隊が機体の整備トラブルで4時間半遅れで出発するというアクシデントはあったものの約7時間20分のフライトの後、ケアンズ空港へ到着し、アサートン高原へ向かいファームステイが始まった。

かけがえない体験 ファームステイ



生徒たちは長旅の疲れも見せず、早速オーストラリアのファミリーたちとの交流を楽しんだ。積極的に英語で話しかけたり、身振り手振りでコミュニケーションを図った。また、牧場の世話や、マンゴー、ライチの収穫を手伝った生徒など貴重な体験を通して学ぶことの多かった2日間だった。そしてお別れ式ではファームステイ先のファミリー



プールに入って気分爽快!



お揃いのキャップはホストからのクリスマスプレゼント



第2隊のお別れ式。ホストファミリーとの別れを惜しんだ



アサートンを後にした一行はレインフォレステーションへ向かい、原住民族であるアボリジニー文化体験でブーメラン投げやアボリジニーダンスショーの鑑賞、水陸両用車アミーダックの乗車などを行った。また、動物園ではカンガルーやコアラ

アボリジニー体験 スカイレール

高校2年2組の井本康輝くんは「初めて海外でのファームステイ体験でした。最初は不安でしたが現地の人々がとても温かく迎えてくださり、ご飯もおいしく、本当に楽しい時間を過ごせました。」と話してくれた。

と涙ながらに写真を撮ったり、別れを惜しむ姿が見られた。

グリーン島 12月の海水浴

次の日朝早く起床し、高速船に乗って、いよいよこの旅のメインの一つであるグリーン島へ到着。海水浴やシュノーケリング、島内の散策など自由に島の時間を楽しんだ。

と身近に触れ合うことが出来、新たな発見も多く、有意義な時間を過ごした。



初めてのワニ肉の味は?

高校2年3組の道家壺人くんは「きれいな海には色々な種類の魚やウミガメがおり、とても楽しかった。時間がすぐに過ぎてしまったので、機会があればもう一度グリーン島に行ってみたいです。」と話してくれた。



シュノーケリングでエメラルドグリーンを堪能!



30期生 修学旅行を終えて

高校2年 学年主任 松井 康浩 教諭

全員が無事に帰国した時の充実した表情は、オーストラリア修学旅行の大成功を意味していたと思います。修学旅行を通して、オーストラリアの人々とふれあい、大自然を満喫し日本では体験することのできない多くの思い出をつくってくれたと思います。改めて英語の大切さに気付いた生徒もたくさんいたようで、是非、今回の経験を今後の高校生活に活かしてほしいと思います。また、保護者の方への感謝も忘れないようにしてほしいです。



合い言葉 “修学旅行が終われば受験生!”
いよいよ高校2年生の3学期が始まりました。ここからは気持ちを切り替え受験生として目標とする大学に合格できるよう、より一層努力してくれることを期待しています。30期生なら出来る!

グリーン島からケアンズ市内に戻り、ショッピングの時間では、家族や友達にたくさんのお土産を買う生徒の姿が見られた。



オーストラリアでの最後の夕食はホテル近くのレストランでオージービーフのコースを楽しみ、翌日ケアンズ空港から大阪へ出発した。無事、関空へ帰国し、たくさん保護者のお迎えを受け最高の修学旅行が終了した。